

次の一歩へ「“顔晴る商工会”キャンペーン」推進中

●第120回(平成21年度第1回)●

中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成21年4月～6月・報告

平成21年7月～9月・予想



栃木県商工会連合会

目次

	頁
1. 栃木県産業全体の景況概要	3
栃木県と全国の業況DI推移を比較 ・ 図1	
県内産業別の業況DI推移を比較 ・ ・ 図2	
2. 製造業の景況	4
主要景況項目の推移	・・・ 図3
売上額(加工高)の状況	・・・ 図4
採算(経常利益)の状況	・・・ 図5
設備投資の状況	・・・ 図6
経営上の問題点	・・・ 図7
3. 建設業の景況	7
主要景況項目の推移	・・・ 図8
売上額(完成工事高)の状況	・・・ 図9
採算(経常利益)の状況	・・・ 図10
設備投資の状況	・・・ 図11
経営上の問題点	・・・ 図12
4. 小売業の景況	10
主要景況項目の推移	・・・ 図13
売上額の状況	・・・ 図14
採算(経常利益)の状況	・・・ 図15
設備投資の状況	・・・ 図16
経営上の問題点	・・・ 図17
5. サービス業の景況	13
主要景況項目の推移	・・・ 図18
売上額(収入高)の状況	・・・ 図19
採算(経常利益)の状況	・・・ 図20
設備投資の状況	・・・ 図21
経営上の問題点	・・・ 図22
6. 調査対象事業所の内容	16
参考 中小企業基盤整備機構 第116回 中小企業景況調査 ニュースリリース	
[中小企業の業況判断DIの推移]	17

○DI指数とは

本文中やグラフ中に登場するDI値とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

例えば、売上額で増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%の場合、DI指数は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを表している。

〔 調 査 要 領 〕

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置して、地域の産業の状況等地域の経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を収集、提供して、経営改善普及事業の実施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

にのみや・国分寺・大平町・岩舟町・塩谷町

高根沢町・那須烏山・那須町・佐野市あそ・足利市坂西

○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数： 150企業（回答率100.0%）

○調査時点

平成21年6月1日

○調査対象期間

平成21年4月～6月期の実績及び、平成21年7月～9月期の見通しについて調査。

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査。

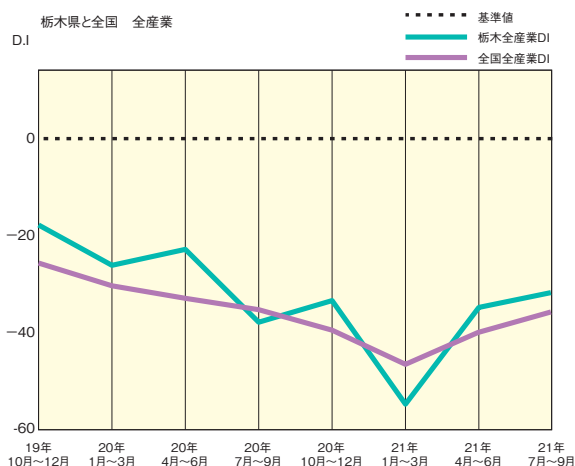
○回答企業数内訳

産 業	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	34	22.7
建 設 業	26	17.3
小 売 業	48	32.0
サ ー ビ ス 業	42	28.0
合 計	150	100.0%

1. 栃木県産業全体の景況概要

〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「全国業況と比べ上昇（マイナス幅が縮小）」（前期比季調済） 図 1



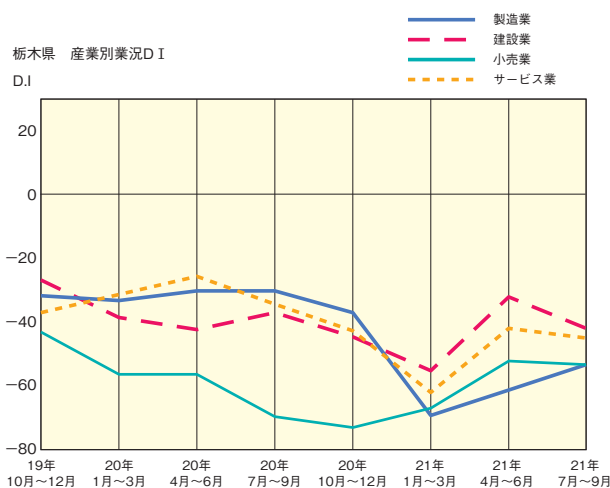
中小企業の業況は、下げ止まりの動きがみられるが、依然として厳しい状況にある。なお、栃木県内の業況D I は、 -38.9° イントと前期 (-56.2° イント) と比べ 17.3° イント上昇、全国業況 (-50.0° イント \rightarrow -43.4° イント) と比べて、マイナス幅が縮小した。

来期見通し（7月～9月）では、全国業況および栃木県業況ともに、D I 値がやや上昇すると予想している。

※全国業況D I は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D I は、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。それぞれ調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「建設業、サービス業が大幅に好転」（前年同期比） 図 2



「製造業」前期比 $+9.5^{\circ}$ イント、「建設業」 $+32.0^{\circ}$ イント、「小売業」 $+17.7^{\circ}$ イント、「サービス業」 $+23.6^{\circ}$ イントと全業種においてD I 値が上昇するなど、下げ止まりの動きがみられるものの、製造業においては依然として厳しい状況にある。

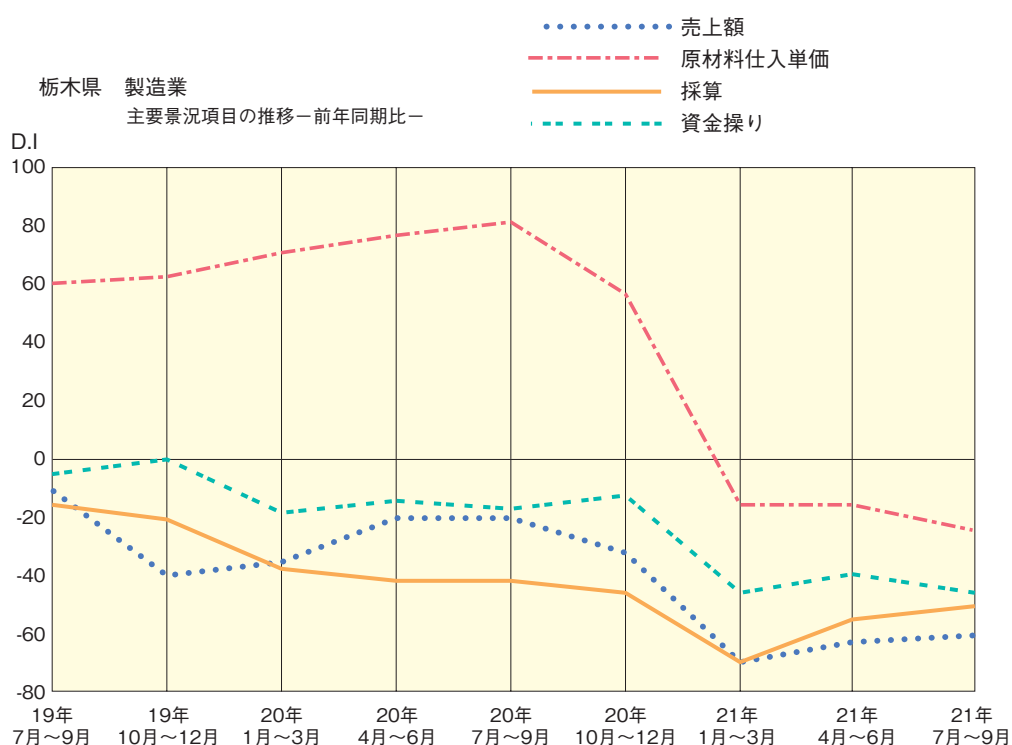
来期見通しでは、「製造業」がやや上昇、「建設業」「小売業」「サービス業」はやや低下を予想している。

2. 製造業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額・採算・資金繰りのD I 値が上昇（マイナス幅が縮小）」

製造業 主要項目の推移（前年同期比）図3



「売上額(加工高)」前期比+7.8ポイント、「採算(経常利益)」+15.6ポイント、「資金繰り」+8.8ポイントD I 値が上昇（マイナス幅が縮小）し、下げ止まりの動きが見られるものの依然として厳しい状況にある。

来期見通し（D I 値）では「売上額(加工高)」、「採算(経常利益)」がやや上昇、「資金繰り」はやや低下を予想している。

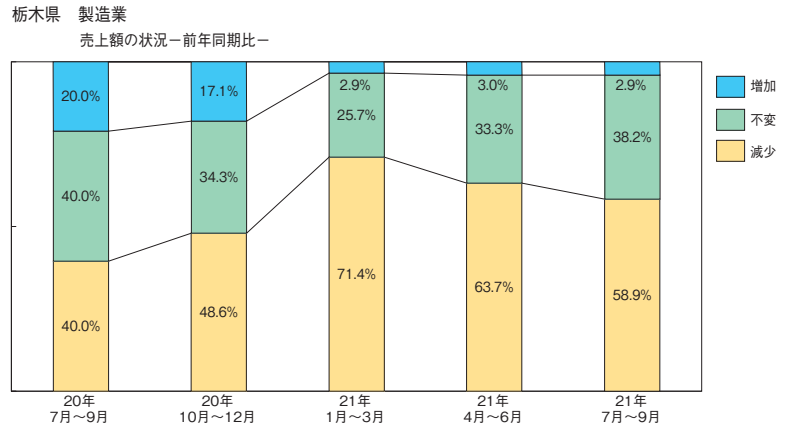
「原材料仕入単価」は-8.6ポイント低下すると予想している。

—売上額(加工高)—

売上額(加工高)の状況(前年同期比) 図4

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が63.7%、増加企業が3.0%で、D I 値は-60.7ポイントであった。前期と比べ、+7.8ポイント上昇した。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業が減り(63.7%→58.9%)、D I 値は上昇し下げ止まりの動きがみられるものの、売上増加企業は少なく、依然として厳しい状況にある。

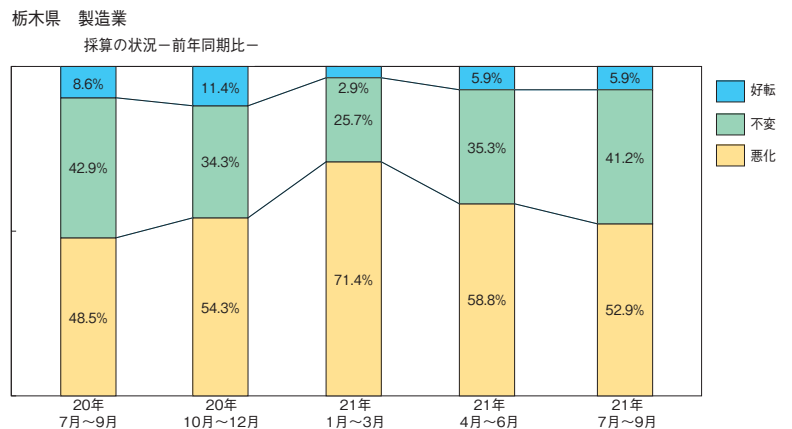


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図5

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が58.8%、好転企業が5.9%で、D I 値は-52.9ポイントであった。前期と比べ、+15.6ポイント上昇した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業が減ることにより(58.8%→52.9%)、D I 値は上昇(前期比+5.9ポイント)するとみている。



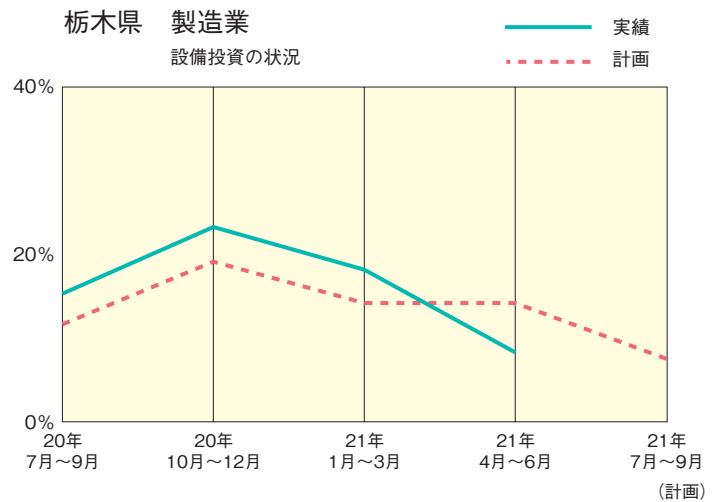
－設備投資の状況－

設備投資の状況

図 6

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合14.3%に対し、実績は8.8%であった。

来期に設備投資を計画している企業は5.9%である。



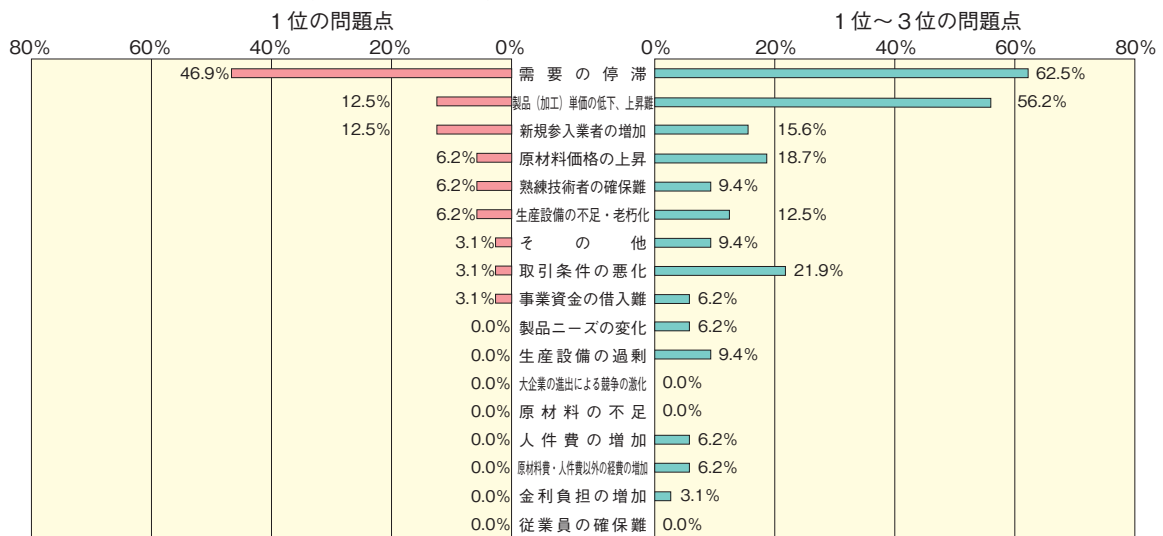
－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況

図 7

栃木県 製造業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



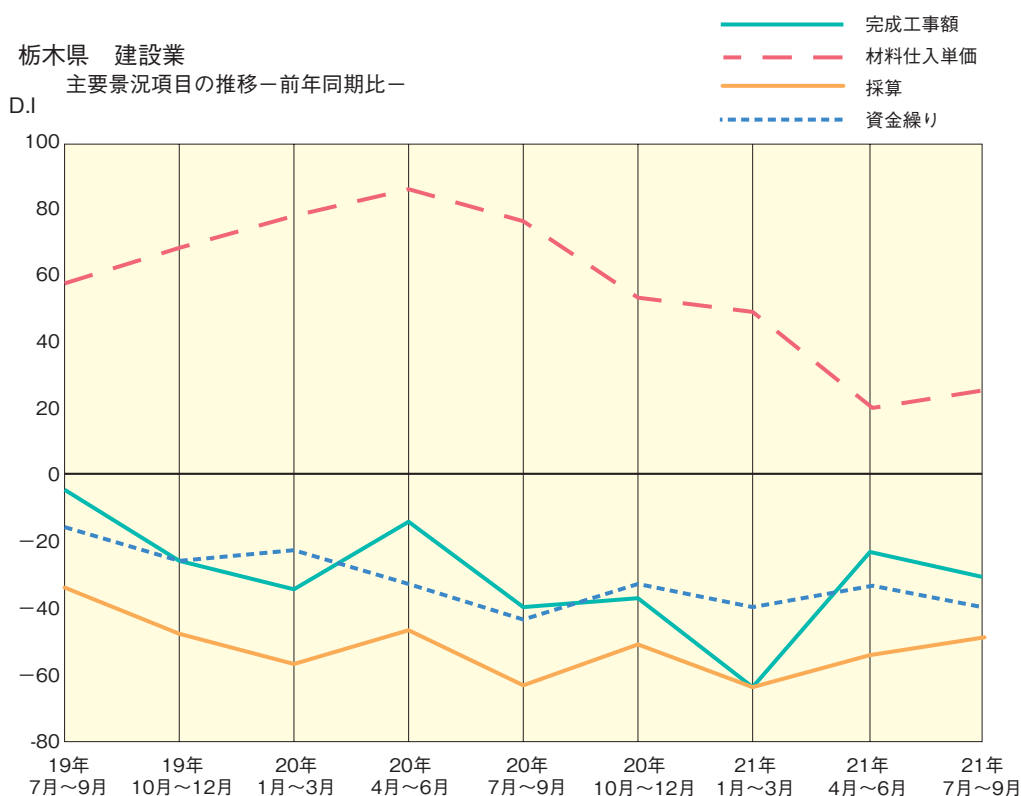
1位～3位の問題点を見ると、「需要の停滞」が最も多く、1位の問題点を見てもトップに挙げら46.9%となっている。そのほか「製品(加工)単価の低下、上昇難」が上位に挙げられている。

3. 建設業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額のD I 値が大幅に上昇（マイナス幅が縮小）」

建設業 主要項目の推移（前年同期比）図8



「売上額(完成工事額)」は前期比+44.0ポイントD I 値が大幅に上昇（マイナス幅が縮小）した。また、「採算(経常利益)」は+12.0ポイント、「資金繰り」+8.0ポイント上昇した。

来期見通し（D I 値）では、「売上額(完成工事額)」「資金繰り」はやや低下、「採算(経常利益)」はやや上昇すると予想している。

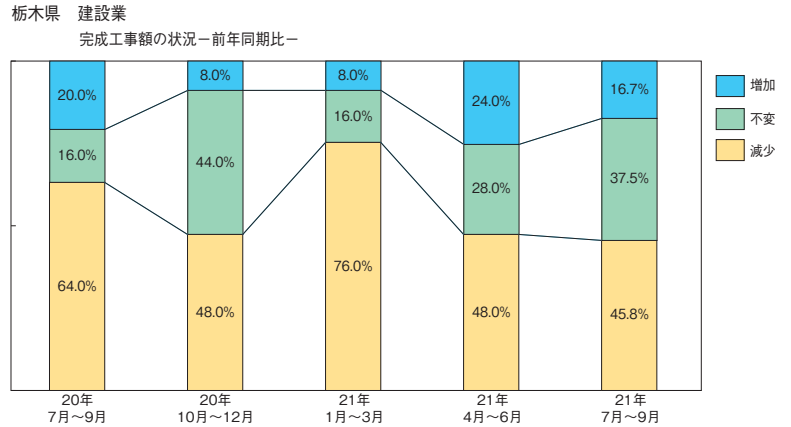
「原材料仕入単価」は+30.1ポイント低下し、来期見通しでは、やや上昇すると予想している。

－売上額(完成工事高)－

売上額(完成工事高)の状況(前年同期比) 図9

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が48.0%、増加企業が24.0%で、D I 値は-24.0ポイントであった。前期と比べ、+44.0ポイント上昇した。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業が更に減るものの(48.0%→45.8%)、売上増加と予想する企業も減り(24.0%→16.7%)、D I 値はやや低下するとみている。

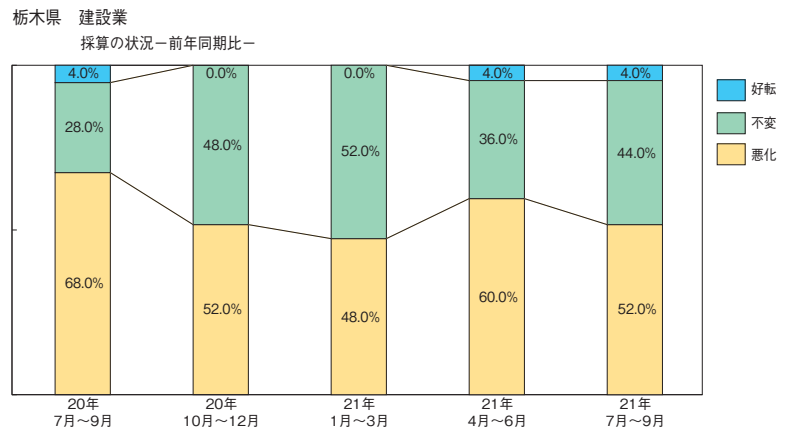


－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図10

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が60.0%、好転企業が4.0%で、D I 値は-56.0ポイントであった。前期と比べ、+12.0ポイント上昇した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業が減ることにより(60.0%→52.0%)、D I 値は上昇(前期比+8.0ポイント)するとみている。

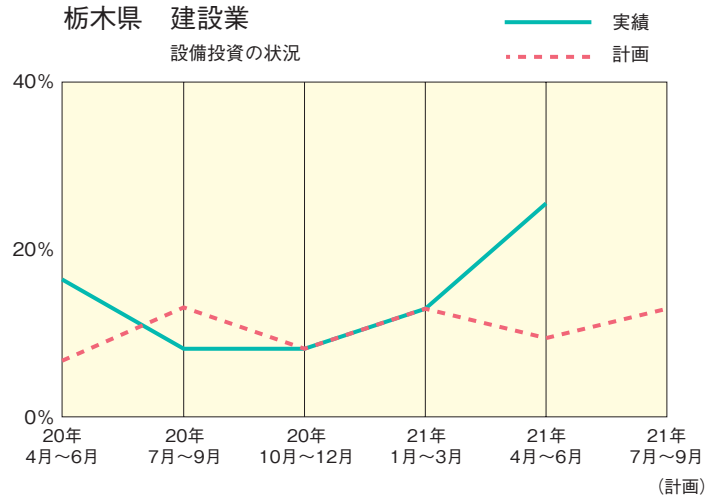


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図11

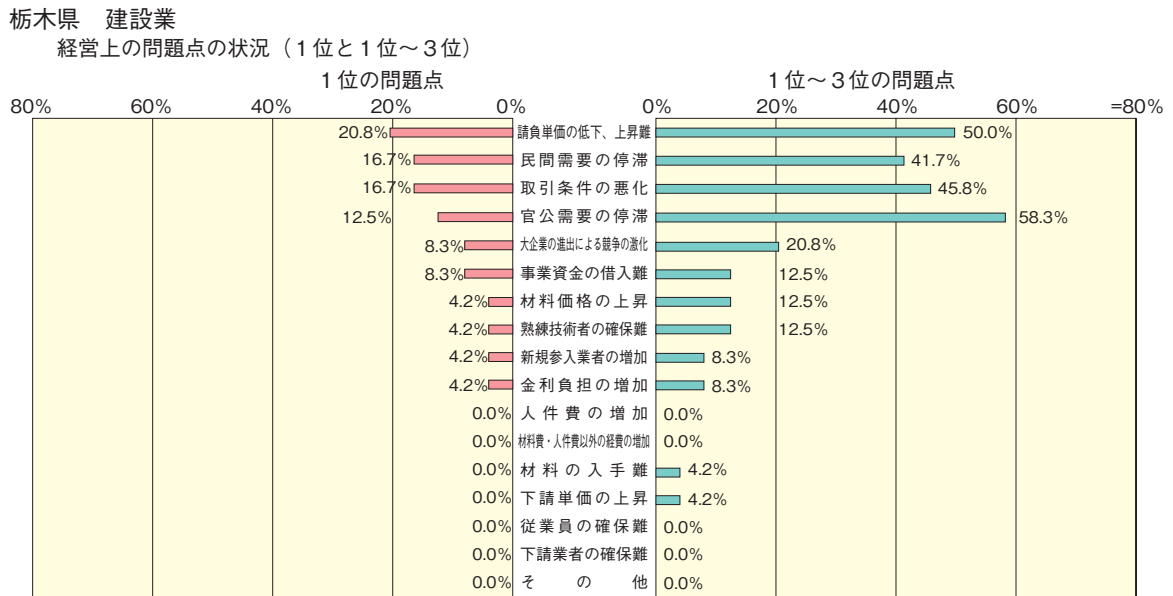
今期の設備投資の状況は、計画していた企業が8.0%、実績は24.0%であった。

来期に設備投資を計画している企業は11.5%である。



—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図12



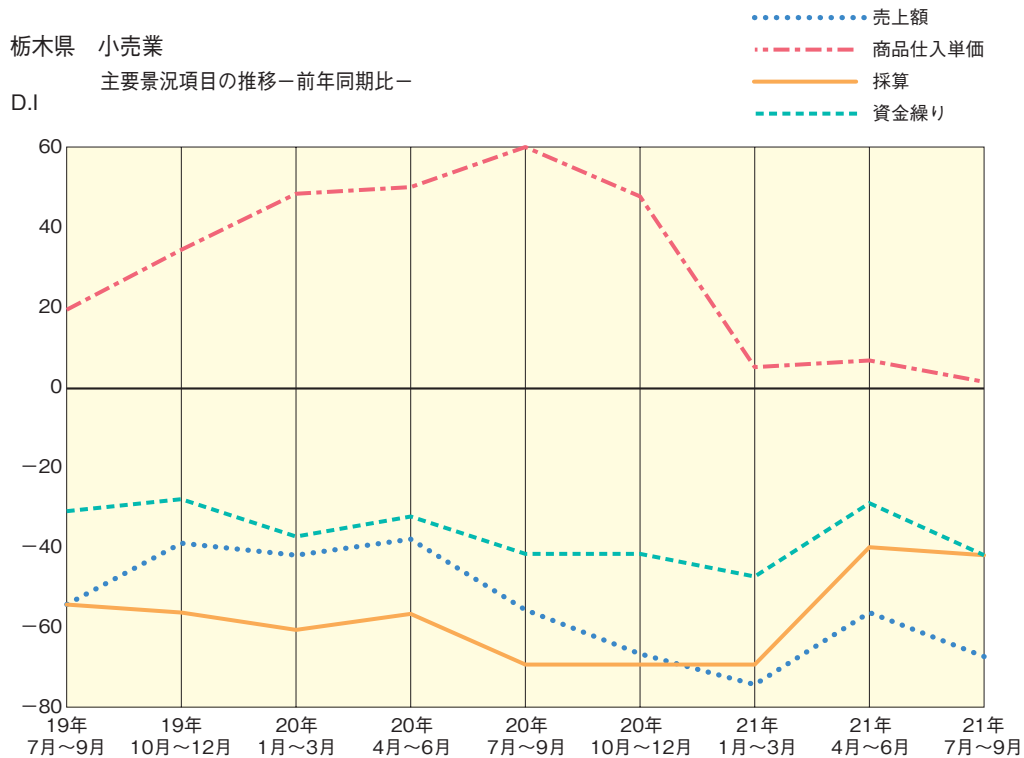
1位の問題点では、「請負単価の低下、上昇難」が多い。また、1位～3位の問題点を見ると、「官公需要の停滞」が多く、「請負単価の低下、上昇難」「取引条件の悪化」などが挙げられている。

4. 小売業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額・採算・資金繰りのD I 値が上昇（マイナス幅が縮小）」

小売業 主要項目の推移（前年同期比） 図13



「売上額」は前期比+19.5ポイント、「採算(経常利益)」は+26.5ポイント、「資金繰り」+17.3ポイントD I 値が上昇（マイナス幅が縮小）した。

来期見通し（D I 値）では、「売上額」「資金繰り」は低下、「採算(経常利益)」はやや低下すると予想している。

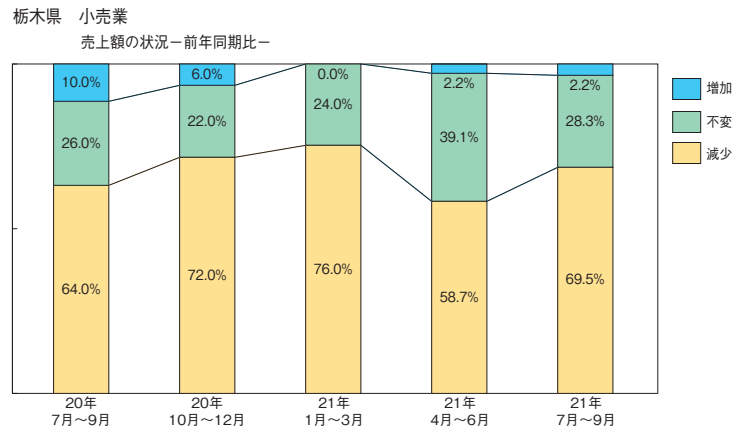
「商品仕入単価」は+2.7ポイント上昇し、来期見通しでは、低下すると予想している。

—売上額—

売上額の状況（前年同期比）図14

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が58.7%、増加企業が2.2%で、D I 値は-56.5ポイントであった。前期と比べ、+19.5ポイント上昇した。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業が増え(58.7%→69.5%)、D I 値は低下(前期比-10.8ポイント)、依然として厳しい状況にある。

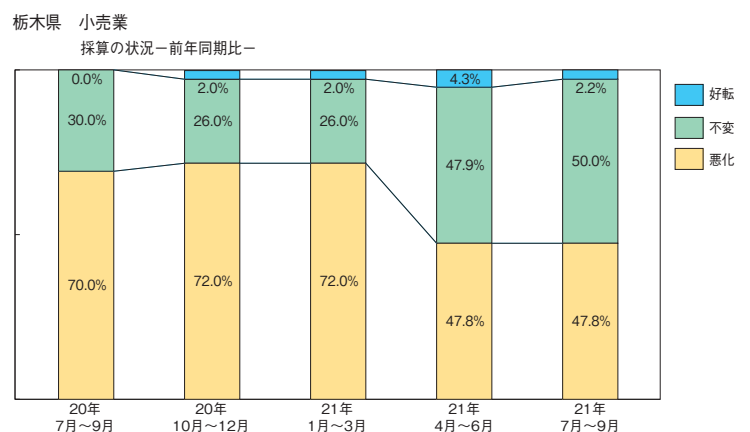


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況（前年同期比）図15

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が47.8%、好転企業が4.3%で、D I 値は-43.5ポイントであった。前期と比べ、+26.5ポイント上昇した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業に変動がなく(47.8%)、採算好転と予想する企業が減ることにより、D I 値はやや低下(前期比-2.1ポイント)とみている。

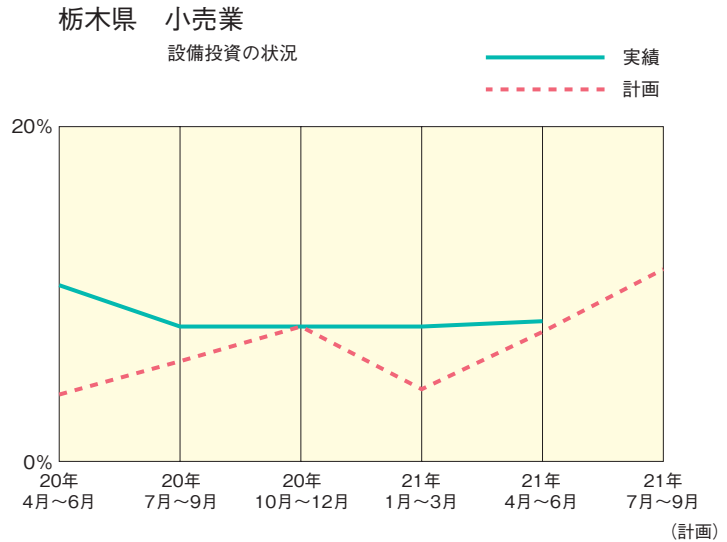


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図16

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合8.0%に対し、実施割合は8.3%であった。

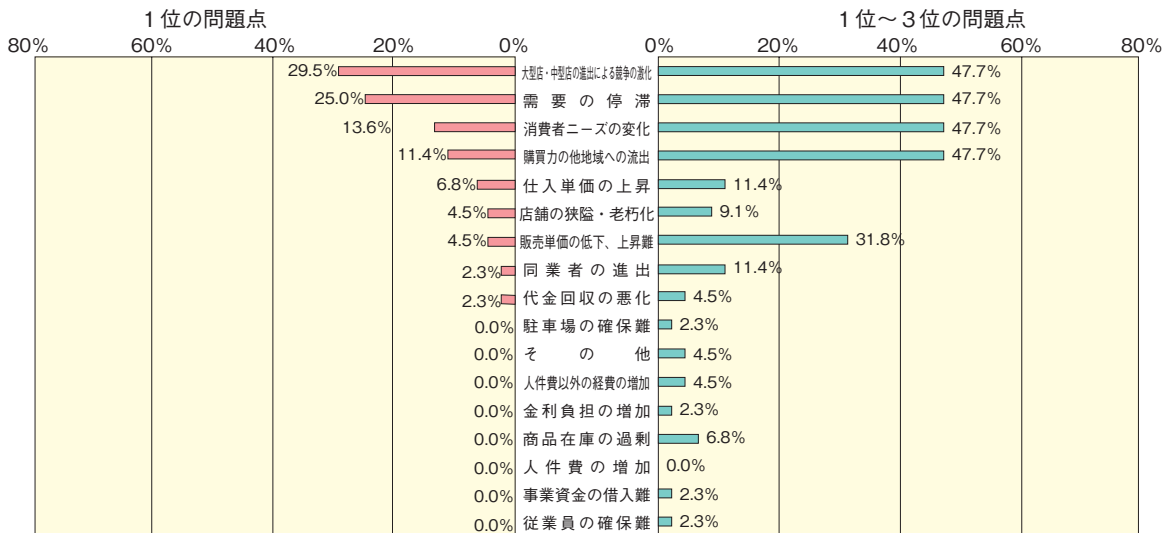
来期に設備投資を計画している企業は12.5%である。



－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図17

栃木県 小売業
経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



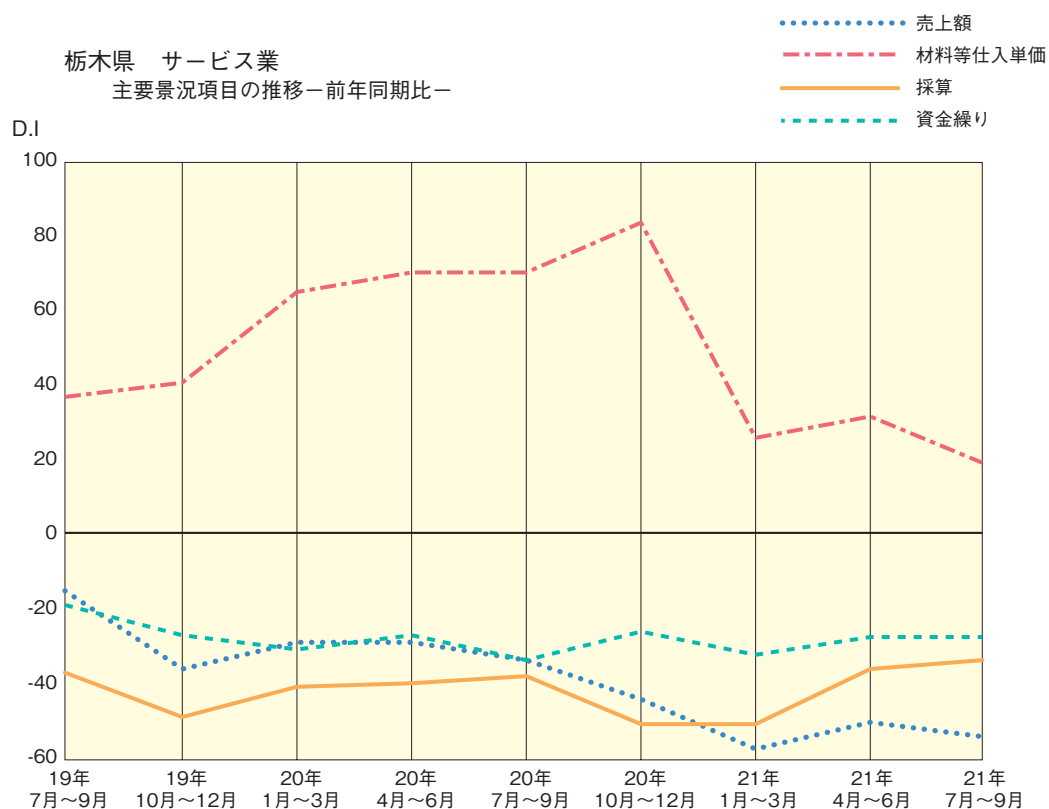
1位の問題点を見ると、「大型店・中型店の進出による競争の激化」がトップに挙げられる。また、1位～3位の問題点を見ると、「需要の停滞」「消費者ニーズの変化」「購買力の他地域への流出」が続いている。

5. サービス業の景況

ー主要景況項目の推移ー

「売上額・採算・資金繰りのD I 値が上昇（マイナス幅が縮小）」

サービス業 主要項目の推移（前年同期比）図18



「売上額(収入高)」は前期比+7.5ポイント、「採算(経常利益)」は+16.7ポイント、「資金繰り」+3.2ポイントD I 値が上昇（マイナス幅が縮小）した。

来期見通し（D I 値）では、「売上額」はやや低下、「採算(経常利益)」「資金繰り」はやや上昇すると予想している。

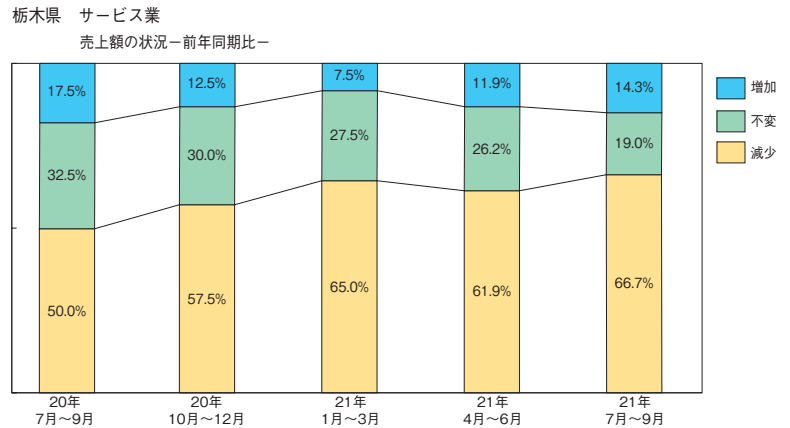
「仕入単価(材料等)」は+5.3ポイント上昇し、来期見通しでは、低下すると予想している。

—売上額(収入高)—

売上額(収入高)の状況(前年同期比) 図19

今期D I値の内訳を見ると、減少企業が61.9%、増加企業が11.9%で、D I値は-50.0ポイントであった。前期と比べ、+7.5ポイント上昇した。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業が増えるものの(61.9%→66.7%)、売上増加と予想する企業も増え(11.9%→14.3%)、D I値はやや低下(前期比-2.4ポイント)にとどまる。

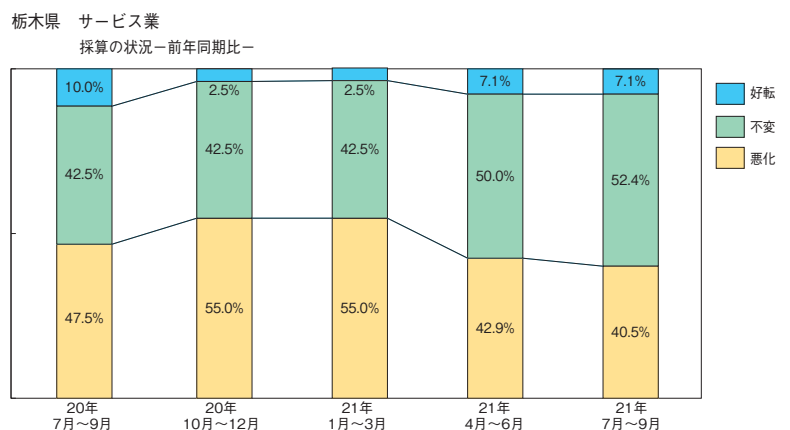


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図20

今期D I値の内訳を見ると、悪化企業が42.9%、好転企業が7.1%で、D I値は-35.8ポイントであった。前期と比べ、+16.7ポイント上昇した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業が減ることにより(42.9%→40.5%)、D I値はやや上昇(前期比+2.4ポイント)とみている。

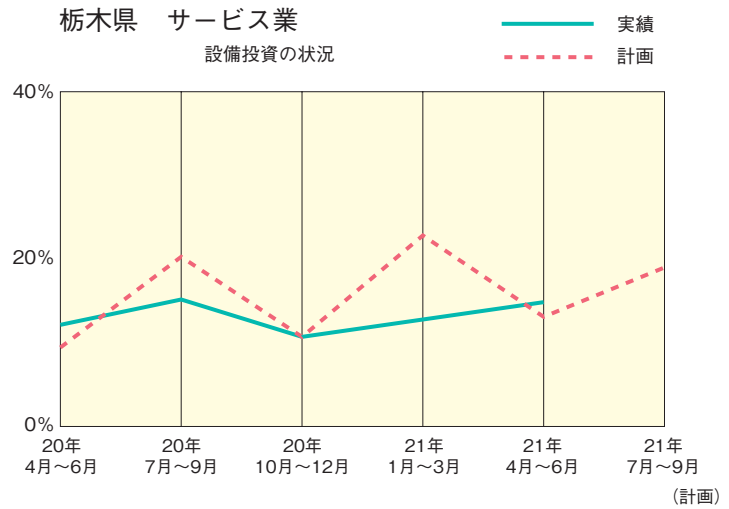


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図21

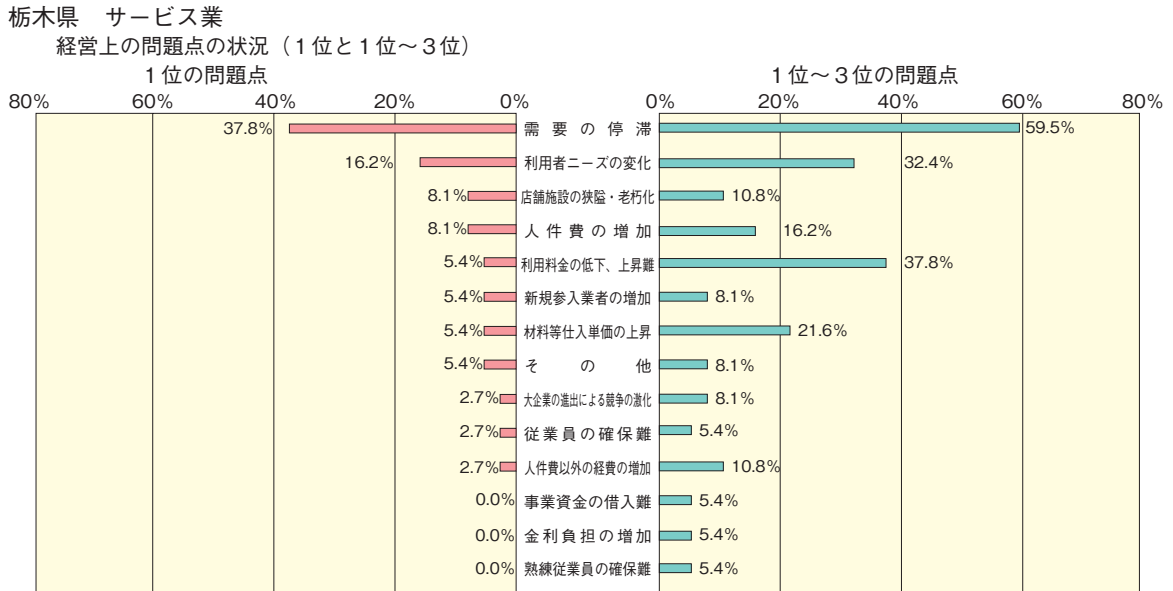
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合12.5%に対し、実施割合は14.3%であった。

来期に設備投資を計画している企業は19.0%である。



－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図22



1位の問題点を見ると、「需要の停滞」がトップに挙げられる。また、1位～3位の問題点を見ると、「利用料金の低下、上昇難」「利用者ニーズの変化」が続いている。

【調査対象事業所の内容】

〈製造業〉

業種別内訳 34事業所

業種	事業所数	割合%
食料品製造業	5	14.7
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.9
繊維工業	1	2.9
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
木材・木製品製造業	2	5.9
家具・装備品製造業	1	2.9
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	0	0.0
化学工業	0	0.0
プラスチック製品製造業	4	11.8
窯業・土石製品製造業	2	5.9
金属製品製造業	6	17.6
一般機械器具製造業	1	2.9
電機機械器具製造業	4	11.8
輸送用機械器具製造業	4	11.8
精密機械器具製造業	1	2.9
その他の製造業	2	5.9

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	8	23.5
3人以下～5人以下	8	23.5
6人以下～10人以下	4	11.8
11人以下～20人以下	8	23.5
21人以下～50人以下	3	8.8
51人以下～100人以下	2	5.9
101人以上	1	2.9

〈建設業〉

業種別内訳 26事業所

業種	事業所数	割合%
総合工事業	14	53.8
職別工事業	7	26.9
設備工事業	5	19.2

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	8	30.8
3人以下～5人以下	9	34.6
6人以下～10人以下	4	15.4
11人以下～20人以下	5	19.2
21人以下～50人以下	0	0.0
51人以下～100人以下	0	0.0
101人以上	0	0.0

〈小売業〉

業種別内訳 48事業所

業種	事業所数	割合%
各種商品小売業	3	6.2
織物・衣服・身の回り品小売業	8	16.7
飲食料品小売業	20	41.7
自動車・自転車小売業	2	4.2
家具・建具・じゅう器小売業	2	4.2
その他小売業	13	27.1

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	44	91.7
3人以下～5人以下	3	6.2
6人以下～10人以下	1	2.1
11人以下～20人以下	0	0.0
21人以上	0	0.0

〈サービス業〉

業種別内訳 42事業所

業種	事業所数	割合%
一般飲食業（一般・遊興）	14	33.3
宿泊業	4	9.5
運輸業	3	7.1
自動車整備業	5	11.9
洗濯・理美容業	11	26.2
その他サービス業	5	11.9

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	33	78.6
3人以下～5人以下	4	9.5
6人以下～10人以下	3	7.1
11人以下～20人以下	1	2.4
21人以上	1	2.4

第 1 2 0 回 中 小 企 業 景 況 調 査 報 告 書

平成 2 1 年 4 月 ~ 6 月 期 報 告

平成 2 1 年 7 月 ~ 9 月 期 予 想

平成 2 1 年 7 月 発 行

編 集 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 経 営 の 見 え る 課

発 行 所 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 栃 木 県 宇 都 宮 市 中 央 3 丁 目 1 番 4 号

TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875

印 刷 所 : (株) 松 井 ピ ・ テ ・ オ ・ 印 刷
